

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-167709(P2005-167709A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-404881(P2003-404881)

【国際特許分類】

**H 04 N 5/91 (2006.01)**

**G 11 B 20/10 (2006.01)**

**G 11 B 27/00 (2006.01)**

**G 11 B 27/032 (2006.01)**

**H 04 N 5/7826 (2006.01)**

【F I】

H 04 N 5/91 N

G 11 B 20/10 D

G 11 B 20/10 3 1 1

G 11 B 27/00 C

G 11 B 27/032

H 04 N 5/782 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月1日(2006.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動画像を第1の記録媒体に記録する第1の記録手段と、

前記動画像に対応する縮小画像を第2の記録媒体に記録し、前記動画像が記録されている位置を示す位置情報を前記第2の記録媒体に記録する第2の記録手段と、

前記縮小画像と前記位置情報を外部の制御装置に送信し、前記制御装置が前記位置情報を用いて生成したコマンドを受信する通信手段と、

前記コマンドを受信した場合、前記コマンドに従って前記動画像を前記第1の記録媒体から検索するように制御する制御手段とを有し、

前記第2の記録媒体に記録されている識別情報が、前記第1の記録媒体を識別するための識別情報でない場合は、ユーザに所定の通知をすることを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記第2の記録手段はさらに、前記第1の記録媒体を識別するための識別情報を前記第2の記録媒体に記録し、

前記通信手段はさらに、前記識別情報を前記制御装置に送信することを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記第2の記録手段はさらに、前記動画像が前記第1の記録媒体に記録された日時を示す日時情報を前記第2の記録媒体に記録し、

前記通信手段はさらに、前記日時情報を前記制御装置に送信することを特徴とする請求項1又は2に記載の記録装置。

**【請求項 4】**

前記第2の記録媒体は、取外し可能な記録媒体であることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の記録装置。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0001】**

本発明は、動画像を記録媒体に記録する記録装置に関する。

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0008】**

本発明は、上記のような点に鑑みてなされたものであり、遠隔操作により所望のカット(動画像)を検索できるようにすることを目的とする。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0009】**

本発明に係る記録装置は、例えば、動画像を第1の記録媒体に記録する第1の記録手段と、前記動画像に対応する縮小画像を第2の記録媒体に記録し、前記動画像が記録されている位置を示す位置情報を前記第2の記録媒体に記録する第2の記録手段と、前記縮小画像と前記位置情報を外部の制御装置に送信し、前記制御装置が前記位置情報を用いて生成したコマンドを受信する通信手段と、前記コマンドを受信した場合、前記コマンドに従って前記動画像を前記第1の記録媒体から検索するように制御する制御手段とを有し、前記第2の記録媒体に記録されている識別情報が、前記第1の記録媒体を識別するための識別情報でない場合は、ユーザに所定の通知をすることを特徴とする。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0010】**

本発明によれば、遠隔操作により所望のカット(動画像)を検索することができる。